

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	平成29/10/06
研究期間	平成31/03/31 まで
研究の名称	腹腔鏡下カバリングイレオストミー造設後のoutlet obstruction
研究対象	腹腔鏡下大腸がん手術を受けた際に、大腸吻合部を保護する目的で回腸人工肛門を造設した患者さん
対象材料	診療記録
対象期間	2011年 1月～ 2017年 3月
研究の目的意義	人工肛門のoutlet obstruction(排泄障害)は人工肛門やその近傍で起こる腸閉塞である。腹腔鏡下に回腸人工肛門を造設した後のoutlet obstruction合併がどのような場合に起こりやすいのかを検討する。腹腔鏡下手術では小さな切開創からの操作のため、ストーマ形成の調整に制限がおこる可能性があるため、腹腔鏡での手術について検討する。
方法	対象患者の人工肛門造設方法(皮切方法、筋膜切開方法、人工肛門の方向性、筋膜ブリッジの有無、筋鞘固定、人工肛門の大腸起始部からの距離、人工肛門の大きさ)及び腫瘍・宿主因子と術後outlet obstructionの関連を後方視的に検討した。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先	市立豊中病院 外科 森田俊治 TEL: 06-6843-0101